

<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>

近畿学校保健学会通信

No. 125

平成 22 年 2 月 15 日 発行
近畿学校保健学会事務局
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
神戸大学大学院人間発達環境学研究所
人間発達論講座川畑研究室内
TEL & FAX 078-803-7739
URL : <http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>
kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
郵便振替口座 00940-5-181826

目 次

1. 第 57 回近畿学校保健学会開催要項 2
2. 演題発表・抄録原稿の作成要項 2
第 57 回近畿学校保健学会演題申込用紙 (本通信内添付)
3. 研究室紹介 3
4. 平成 21 年度第 2 回近畿学校保健学会幹事会議事録 4

学会参加費についてのお願い

近畿学校保健学会では、これまで正会員の方につきましては、学会参加費は無料としてまいりました。しかしながら、最近の会費収入の減少に伴い、学会財政は極めて困難な状況にあり、年次学会への補助金も平成 22 年度から減額せざるをえなくなりました。しかし、15 万円の年次学会補助金では学会の運営に大きな支障を来すことは明らかです。そこで、平成 21 年 10 月 10 日の幹事会におきまして、平成 22 度からの 6 年間は正会員の方からも学会参加費のご負担をお願いせざるをえないという結論に達しました。大変心苦しいお願いではありますが、年次学会の円滑な運営のためにご理解いただきますようお願い申し上げます。

近畿学校保健学会幹事長 川畑 徹朗

第 57 回近畿学校保健学会開催要項

学会長 中川 雅生
(滋賀医科大学医学部附属病院
治験管理センター/小児科)

第 57 回近畿学校保健学会を下記の通り開催します。今学会は学校現場での実践報告も歓迎いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

1. 会場

ピアザ淡海ピアザホール会議室等
大津市におの浜 1 丁目 1 番 20 号
TEL : 077-527-3315 (県民交流センター)

2. 日時

平成 22 年 6 月 12 日 (土) 9 : 30 ~ 17 : 45
(9 : 00 受付開始)

午前 : 一般演題

昼 : 評議員会

午後 : 総会, 次期会長挨拶

学会長講演

「滋賀県における学校心臓検診の
精度管理」

中川雅生(滋賀医科大学准教授)

教育講演

「発達障害と脳科学」

- 学校および医療の役割と連携

竹内義博(滋賀医科大学小児科教授)

シンポジウム「小児の糖尿病の予防」

1. 「和歌山市学童糖尿病検診の現状」

井邊美香 (光仁会二澤医院)

2. 「養護教諭の立場から」

- 中学生の肥満の予防 -

松崎典子 (大津市立瀬田北中学校)

3. 「尿糖スクリーニングの問題点」

大矢紀昭 (びわこ学園医療福祉

センター野洲)

4. 「小児の糖尿病予防」

- 行動療法の視点

免田賢 (仏教大学教育学部)

3. 一般演題申込

演題発表者は、演題申込用紙に必要事項を記入の上、平成 22 年 3 月 10 日 (水) までに、第 57 回近畿学校保健学会事務局まで申込下さい。また、抄録用の原稿は、原稿作成要項を参照して、平成 22 年 4 月 15 日 (木) までに、第 57 回近畿学校保健学会事務局まで、E メールまたは、原稿在中と朱書きの上、送付して下さい。後日、発表時間等お知らせいたします。

[E メール送付先 : tanigawa-n@bss.ac.jp]

◎ 一般演題発表者は共同研究者を含め正会員であることが必要です。会員でない方は、年会費 3,000 円を下記郵便振替口座にお振込み下さい。

加入者名 : 近畿学校保健学会

加入者番号 : 00940-5-181826

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲 3-11

神戸大学大学院人間発達環境学研究科

川畑徹朗 研究室内

近畿学校保健学会事務局

TEL&FAX : 078-803-7739

4. 参加申込

特に必要ありません。当日会場にお越し下さい。

5. 参加費

正会員 1,000 円 (但し、平成 22 年度会費納入者)、平成 22 年度会費未納の会員の方は、当日、年度会費をお支払い下さい。会費納入がない場合は、当日会員と同じく参加費は 2,000 円となりますのでご注意下さい。

当日会員 2,000 円, 当日学生会員 1,000 円

6. 懇親会

平成 22 年 6 月 12 日 (土) 18 : 00 よりホテルピアザにて懇親会を開催いたします。参加費は 5,000 円 (当日受付有) です。お気軽に是非ご参加下さい。

7. 演題申込先

〒520-0503 大津市北比良 1204 番地

びわこ成蹊スポーツ大学

第 57 回近畿学校保健学会事務局

谷川尚己

(TEL : 077-596-8487, FAX : 077-596-8419,

E-mail : tanigawa-n@bss.ac.jp)

演題発表・抄録原稿の作成要項

1. 演題申込について

別紙の演題申込用紙に必要事項を記入の上、平成 22 年 3 月 10 日 (水) までに、郵送・FAX・Eメールのいずれかでお申込下さい。

2. 抄録原稿作成要項

第 57 回近畿学校保健学会の抄録原稿については、原稿用紙は送付いたしませんので、各自下記の要項に即して作成し、郵送または E メールでお送り下さい。

抄録原稿は、原則として、Microsoft Word または一太郎でご執筆下さい。A4 用紙 1 ページで、上下 30mm、左右 25mm の余白枠を超えないようにお願いします。

演題名は、中央に配置して、文字は 12 ポイントで強調文字に。一行空けて、発表者名、共同研究者名、所属を右寄せにして、10 ポイントで記入して下さい。発表者名の前に○印をつけて下さい。一行空けて、キーワードを 3~5 個、左寄せにして

9 ポイントで記入して下さい。改行して本文となります。

本文は 10 ポイントで 2 段に分け、1 段当たり 1 行 24 字で、中央は 3 字空けて 40 行で、収めて下さい。書体は、明朝体またはゴシックをお願いします。本文では、研究・実践目的、研究・実践方法、研究・実践結果および考察を明確に簡潔に記述下さい。必要があれば収まる範囲で、図表を入れて下さい。

抄録原稿の締切りは、平成 22 年 4 月 15 日（木）（郵送の場合は当日消印有効）をお願いします。

Eメールの場合、Microsoft Word または一太郎で作成し添付ファイルにて「抄録原稿」として送信して下さい。

[Eメール送付先：tanigawa-n@bss.ac.jp]

郵送の場合、原本とコピー 2 部、および原本が入っているフロッピーもしくは CD-R/CD-RW と連絡先を記入したはがき 1 枚を事務局までお送り下さい。封筒には、「第 57 回近畿学校保健学会 抄録原稿在中」と朱書きの上、送付して下さい。

3. 発表のお知らせについて

原稿を頂いて、演題申込用紙を確認した後、Eメールの場合は、Eメールで、郵送の場合は、はがきでお知らせいたします。

4. 発表についての留意事項

発表は、1 演題につき、発表時間 10 分、質疑応答時間 5 分を予定しています。学会当日は、パワーポイント用のプロジェクター、コンピューターを準備いたします。パワーポイントを使用される場合は、USB フラッシュメモリーをご持参下さい。なお、Office 2003, XP もしくは 2007 対応のものでお願い致します。資料配布される場合は 50 部ご用意下さい。不明な点がございましたら、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

＝連絡先＝

〒520-0503 大津市北比良 1204 番地

びわこ成蹊スポーツ大学

第 57 回近畿学校保健学会事務局

谷川尚己

(TEL : 077-596-8487, FAX : 077-596-8419,

E-mail : tanigawa-n@bss.ac.jp)

研究室だより

大阪教育大学大学院教育学研究科
養護教育専攻 身体発達学研究室 白石龍生

(はじめに)

研究室の名前が非常に長いのに驚かれたと思いますが、これが正式の研究室の名称です。学部の養護教諭養成課程を基礎とした大学院修士課程の 1 研究室ということになります。養護教育専攻に

は現在 6 つの研究室があります。今回このコーナーを大阪地区で担当する事になり、代表幹事でもありますので、研究室というには程遠い研究単位ですが、紹介いたします。なぜ身体発達という名前がついたかと申しますと、本学の大学院では、現代的教育課題に関する自由選択科目というのがあります。身体発達学特論もその 1 つです。それを私が担当しているということで、この名前になりました。本学は大講座制のため研究室のメンバーは、私と大学院生および学部学生で構成されています。現在大学院 1 回生に現職の養護教諭の先生がいます。この方は神戸市の中学校に勤務しながら研究を進めています。また 4 回生は 7 名います。

(身体発達学とは)

子ども達の健康課題を見ていきますと、身体発達に関するものが数多く認められます。WHO の憲章の中には変化する環境の中で調和して生きていく能力が必要であることが述べられていますが、現代の子ども達はその変化する環境に上手に適應することが出来ず、様々な問題を生じているのではないかと考えています。子ども達の発達に関わる様々な健康問題を探求し、解決策を提言できるような学と術にしたいと考えています。

具体的には肥満、やせ、食生活習慣といったものを研究課題として取り上げています。やせ願望についてはずっと注目してきましたので、そろそろまとめなければと考えています。

(研究室の歴史と近畿学校保健学会)

当研究室のルーツをたどりますと、大阪学芸大学保健学科保健学教室にたどり着きます。この学科は昭和 39 年に設立されており、伊東祐一先生、富士貞吉先生、榊原栄一先生、目黒庸雄先生といったそうそうたる先生方がおられ、教員養成というよりは健康に関するリベラルアーツを目指していたように思います。全員が医師で、医学博士でした。伊東先生は近畿学校保健学会の 1 回、2 回および 13 回の年次学会長を務めておられます。また本学の養護教諭養成所の初代所長でもあります。4 人の先生は全て鬼籍に入りましたが、私は大学院生そして助手時代に伊東先生から直接学会設立当時のお話をお聞きすることが出来ました。この経験は、50 周年の記念誌編集に関わらせていただいた時にも役に立ちました。

これらの先生方に続く世代としては本学会の名誉会員である上林久雄先生、後藤英二先生、上延富久治先生がおられます。この先生方も近畿学校保健学会と深く関わっておられ、会長はもとより幹事長、事務局長、幹事といった要職に就かれました。50 周年誌にも書きましたが、近畿地区の主要な先生方を紹介して下さったのもこれらの先生方です。私が直接お教えを受けました和歌山県立医科大学名誉教授の武田眞太郎先生をはじめと

した近畿学校保健学会の先生方は、視野を広く持っておられたように思います。そして包容力があり、決して閉鎖的ではありませんでした。こういった風土を本学会は伝統的に持っていると思いません。

（養護教諭の養成と近畿学校保健学会）

昨年の学校保健法の改正では名称が学校保健安全法となり、養護教諭が学校保健活動の中心的な機能を果たすことが明確にされました。学校保健を看板としている学会として、教育現場の様々な健康課題に答えることが必要だと考えます。

そして養護教諭を養成する大学としては、いつも子ども達の健康生活を支え続けることが出来る「実践学」の構築が必要のように思います。

学会は研究討議の場ですが、子ども達の健康に関わる多くの人々が集いお互いに研鑽を積み場としてさらに発展してほしいと考えます。

平成 21 年度第 2 回近畿学校保健学会幹事会議事録

日時：平成 21 年 10 月 10 日 14:00～16:00

場所：兵庫県伊丹市 いたみホール 5 階会議室 2

出席：（幹事長）川畑（常任幹事）森岡，春木

（幹事）大矢，白石，武田，辻井，中川，西岡，林，八木，吉岡（事務局）菱田，三島

議事

（1）役員改選について

・会員，選挙権者，被選挙権者の定義は前回通りとすることになった。即ち，平成 20 年度もしくは 21 年度の会費を納入した者を「会員」，平成 21 年度の会費を納入した者を「選挙権者」，平成 20 年度と 21 年度の会費を納入した者を「被選挙権者」とすることになった。また前回通り，各府県の評議員定数と幹事定数は，各府県の会員数をもとに算出することになった。

・前回選挙時の日程を元に，おおまかな選挙日程の確認を行った。

・各府県の選挙管理委員を以下のように決定した。林正（滋賀県），八木保（京都府），後和美朝（大阪府），辻井啓之（奈良県），武田眞太郎（和歌山県），中村晴信（兵庫県）

・第 1 回選挙管理委員会は平成 22 年 1 月 30 日にいたみホールで開催し，選挙管理委員長を選出することになった。

（2）学会通信 No. 124 の発行について

・川畑幹事長より，中村常任幹事が作成した原案に基づいて，二段組みにすると大幅にページ数が抑えられ費用削減になることが説明され，了承された。

（3）第 57 回近畿学校保健学会について

・中川年次学会長より，第 57 回近畿学校保健学会を以下の通り開催することが報告された。

日時：平成 22 年 6 月 12 日（土）9 時受付開始

場所：滋賀県大津市 ピアザ淡海

・学会開催要項の原稿は，2 月発行予定の会報に掲載する都合上，12 月末までに事務局へ送付することになった。

・学会直前の幹事会は，5 月 15 日にいたみホールもしくは神戸大学で開催することとした。

（4）学会参加費について

・会費収入の減収に伴い，学会財政が逼迫し，来年度から年次学会補助金を減額せざるを得なくなったため，正会員からも学会参加費を徴収することについて議論し，平成 22 年度以降 6 年間，正会員からも 1,000 円を学会参加費として徴収することで合意した。

（5）その他

・学会通信 No. 125 に掲載する「研究室紹介」は，白石幹事（大阪教育大学）が担当することになった。

編集後記

本号には，6 月 12 日にピアザ淡海（滋賀県大津市）を会場として開催される，第 57 回近畿学校保健学会（中川雅生会長）の開催要項を掲載しました。第 57 回大会では，講演・シンポジウムとして，学校検診での精度管理や，発達障害，小児の糖尿病といった問題が取り上げられます。大津市は大化の改新をなしとげた天智天皇が都を定めた古都であり，陸上・湖上に諸国へ向かう交通路が通じた要所として栄えてきました。第 57 回大会も，将来の発展へとつながる発表や議論を期待するものであります。多数の方々の参加と発表をお待ちしております。

近畿学校保健学会常任幹事 中村晴信